

# ガムシ

*Hydrophilus acuminatus*

ガムシ科

## 名前の由来

腹面に刺があるため牙虫となつたとされている。  
漢字名：牙虫



ガムシ（成虫）

## 形態的特徴

**成虫の特徴：**体長33mm～40mm。だ円形で、固くて丈夫なサヤのような前翅を持つ。体色は緑色を帯びた黒色。背面の三角の板（小楯板：しょうじゅんばん）がゲンゴロウよりも広い割合を占める。  
ゲンゴロウに比べ動きは大変鈍く、6本の肢をバラバラに

動かして泳ぐ。

**幼虫の特徴：**体長約80mm。黄褐色で腹面はやや淡色。ゲンゴロウの幼虫に似ているが、肢は短く、体全体が太い。

類似種：コガムシ。

コガムシは16～18mmで小さい。

## 生息環境・分布

植生豊かな池沼。

十勝地方では、豊頃町の礼作別川（十勝川支流）等に分布。

**分布：**国外分布は、朝鮮半島・中国・台湾。国内分布は、日本全土。北海道内では、普通に分布。

## 食性・他の生物との関わり

成虫は草食性で腐りかけた植物や、水草を食べる。幼虫は肉食性で、小動物を捕らえて肉を溶かして食うという。小動物だけでなく豊かな植生も生息条件に必要なである。

## 繁殖生態・寿命

卵のう（卵の袋）を水面に浮かべる。

## 興味深い話

■成虫は腹部に生えている毛に空気をつけて、それを潜水中の呼吸に利用する。そのため気門も腹側についている。空気の交換は他の水生昆虫のようにオシリを水面に突き出すのではなく、頭を水面にあげて片方の触角を水面につけ、先を折り曲げることで腹部との間に空気の通り道を作る。

■腐蝕植物を餌とするためスカベンジャー（掃除屋）として重要な生物といえる。

■ガムシ科の仲間には体長が3mmくらいの小型の種類もいる。

## 配慮事項

植生豊かで小動物も豊富に生息する池沼が必要。幼虫は陸上の土中で蛹になるため、水域と陸域の連続性が大切。

## 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
確認できる時期												

## 参考文献

「日本産水生昆虫検索図説」川合禎次 東海大学出版会 1995  
「原色日本甲虫図鑑（Ⅱ）」上野俊一 黒澤良彦 佐藤正孝 保育社 1989

「滋賀の水生昆虫・図解ハンドブック」谷田一三・竹門康弘 監修 滋賀県小中学校教育研究会理科部会 編 新学社 1991

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(ワシ・タカ) 鳥類  
草原・樹林